**明治維新と長州藩**

長州藩（現在の山口県）出身の大名、武士、反幕府活動家は、1868年の明治維新を進めていました。この歴史的出来事は徳川幕府の統治の終焉や天皇への主権の回復を示すものでした。明治維新後の数年の間に重要な政治改革が起こり、日本は新たな明治政府のもとで近代化のプロセスを開始しました。ここを訪れると、日本の歴史をはっきりさせるこの一連の出来事と山口の町じゅうに新しい時代の到来を告げる手助けをした有力者について学ぶことができます。

幕末歴史館（別名：十朋亭維新館）では、長州藩の歴史や経済の停滞と飢饉から外国勢力との戦争、その他強力な反幕府藩との盟約まで、長州藩を反幕府に導くことになった出来事についての説明がされています。重要な戦いのマップ、詳細な年表、映像プロジェクションなどの展示があります。長州藩第13代大名である毛利敬親（1819年–1871年）、天皇制の復古を支持し明治政府の形成を進めた活動家である長州五傑など、この時代の政治の中心人物のプロフィールも展示されています。幕末歴史館は醤油醸造所跡地に建てられており、その敷地内には1860年代に長州役人の宿泊施設として利用されていた十朋亭など、歴史的建造物があります。

勤皇の志士は戦略を練り、盟約を結ぶため、十朋亭などに密かに集い会談を行っていました。香山公園の敷地内に枕流亭として知られる建物が保存されています。この建物は商人が所有しており、長州藩と薩摩藩（現在の鹿児島県）出身の志士による密談が行われた場所として有名です。枕流亭での会談を通して、志士たちは軍を結成し幕府に対して反旗を翻すことを決意しました。もう1つのよく知られる密会の場として、大名毛利敬親が建て香山公園の敷地内に移転された露山堂があります。

幕末歴史館では、山口の町での主要な勤皇の志士に関連する場所が掲載されたマップを見ることができます。ガイドと行く歴史街道萩往還ウォーキングツアーに参加する場合、明治維新に関連する場所を行程の中に自由に組み入れることができます。これらのツアーは、萩往還語り部の会を通じて参加することができます。